

みんな笑顔であつたかす

- 町政に際しての所信表明に対する質疑
- 一般質問
- 第4回定例会議案詳細
- 平成24年第7回/平成25年第1回臨時会
- 総務文教常任委員会所管事務調査
- 全道議会議員研修会 / 議会の動き
- わたしの一言

発行：北海道鷹栖町議会 / 編集：議会報特別委員会

# みんなの議会

2

2013

12月定例会号

町民の皆さんと議会をつなぐ議会報を目指して

No.149

平成25年 はたちのつどい



谷町長は、「人を大切にしたい力強く確実なまちづくり」を軸に、町政運営の方針を示しました。質疑の内容は、6項目に分類してお知らせします。

※「町政担当に際して」は、広報1月号の3ページから載っています。併せてご覧ください。

## 一次代に引き継ぐ 豊かな子育て環境・人づくり



**坂根議員** 保育園や子育て支援センター、放課後児童クラブの環境整備について、共働きが多い中、安心して働ける環境が大切だと思いますが、同時に、親としての責任を持っていただけるような対応も考えては。

また、3人目以降の保育料減免で、保育園だけでなく、幼稚園も含めては。

**答弁** 保育園では、保護者の状況も見ながら、共に悩みを解決していきたいように、保育士の質を

高めていく努力をします。児童クラブについてもNPO法人や保護者が積極的に子育てに参加している仕組みを作り、行政も側面から応援したいと考えます。

保育料減免は、幼稚園も対象に考えていきます。

**新田議員** 鷹栖は子育てしやすい町ということで、保育所の建て替えや小学校の増築をしてきました。

施設の有効利用の面からも子どもの数を維持し

ていくことが必要と思いますが、3人目以降の減免制度ではなく、無料化するなど、思い切った措置をして、子育て世代を鷹栖に呼び込んで。

**答弁** 現在、3人目以降の子供が2割弱います。思っていたより多いのが実態で、子育て支援については、十分なされていないかと思っています。

今後、定住対策も含めて若い世代の方々に安心して働いていただき、よりよい環境の中で子育てをしていけるように、町もバックアップしたいと考えています。

**大石議員** 北野保育園は0歳児保育を受け入れていません。

今後、北野地区の幼稚園・保育園を一つにして0歳児保育も含めた環境整備を考えているのか。

**答弁** 0歳児保育は、1カ所に集中して保育する形のほうが、財政的にも望ましいと考えます。

幼保一元化は、過去に保護者との話し合いで、双方の役割が違うので選択肢があつたほうがいいとの声が多く、今の状態で続けていく考えです。

**近藤議員** 今までの図書費では司書を雇用しても、活用ができないと思う。予算を増やしての体制であれば納得できるが、考えは。

また、これからも教育委員会の主動で行うのか。



北野保育園

# 町政担当に際して

## — 町長の所信表明に対する質疑 —



オクトーバーフェスタ

**【答弁】** 図書費は、なるべく増額したいと思いますが、予算は3月の予算委員会のときに教育委員会から提案します。

**【問】** 図書は、教育行政の環境ですので、今までどおり、教育委員会の主動で行います。

## 二 安心・安全で信頼できる農業の推進

**【植西議員】** 「農産物の優良性を消費者に伝え、出荷販売できるように推進」とあります。

**【問】** 鷹栖産米は農協との絡みで、消極的な売り方です。今は、町内にもイースクリーン米等もあり、鷹栖の米ということ、行政も側面から押し上げ、推進していく考えはないのか。

**【答弁】** 町も、オクトーバーフェスタであさひかわ米やたいせつ米ブランドを販売しています。府県米と比較しても、北海道米がおいしいとの評価もありますので、両農協と積極的に連携を図りながら進めていきたい。

**【中村議員】** 鷹栖産の農産物とは、米に限定して進めるのか、野菜等も含めた考えなのか。また、具体的なPR方法は、単発ではなく、継続的に行うべきと思うが。

**【答弁】** 農産物は米に限らず、野菜等も併せたPRを考えています。鷹栖応援サポーターの方々には広報を発行したり、道外では、栃木のホンダ祭り、東京三鷹市のふるさとフェアでもPRしています。

**【問】** 市内のデパートで上川管内フェアを開けないか相談もしています。

**【近藤議員】** 農業振興は、町より農協が積極的に行うべきと思います。2つの農協があつて大変ですが、町もやるから農協も一緒になって、という姿勢がなくては農業の発展はないと思います。

**【問】** 農協との関わりをどのように考えているのか。

**【答弁】** 農業者は農業者、農協は農協の役割があり、町がそれをバックアップしていく形がよいと考えます。

**【問】** 町として農協を指導し

ていくという立場もありますので、農協との話し合いの場をもって、農業政策を進めていきたい。

**【辻本議員】** 農家人口が急激に減って継承できなくなるのが心配です。都会の方に来てもらう

ためにも、宿泊研修施設を充実するなど、新しい農業の担い手を育てる考えは。

**【答弁】** 後継者や継承問題については、新規就農者確保対策事業で法人に対して研修費助成をしています。

宿泊施設等の問題は、旭川に隣接した地域なので現在考えていませんが、既存の公営・民間住宅等を活用して後継者や継承者確保に取り組んでいきたい。



ノーマライゼーションセンター

**中家議員** 宿泊施設に

ついては、多目的な利用施設として考えては。

農業者受け入れ施設・

町内企業の社員一時宿

泊・教育関係の夏場キャ

ンプなど、既存の施設の

中核になる場所として考

えては。

**答弁** 現在、中央地区

にノーマライゼーション

センターがあり、色々な

イベントや行事の受け入

れに利用しています。

宿泊施設は、維持管理

に年間数百万の予算が必

要です。町全体のバラ

ンスも考え、皆さまと相談

していきたいと思

います。

**木下議員** 町内の野菜

生産農家は旭川の青果連

に加盟し「旭川鷹栖産」

の表示で出荷販売してい

ます。

鷹栖独自の販売は大

変難しい実態なので、旭

川市と一緒に販売

していく考えがあるのか。

**答弁** 旭川市と一緒に

なつて販売戦略を考えて

いくことは必要だと思っ

ています。地場産品を

使つて消費者に安心安全

なものを届けたいという

企業はありますので、

オール上川という部分で

積極的に進めていきたい

。

**新田議員** 農地利用調

整協議会は、ほとんど活

動がなく、目標も定まっ

ていないと思います。今

後、農地の集積や中間保

有・基盤整備を進めて

いくと思いますが、この

組織をどう働かせていく

のか。

**答弁** 農地集積や多団

地解消は、農業経営の効

率化の中で非常に大切な

事業です。農地の集積化

を進めるために、この組

織が中心となって各地域

の農業者や団体と協議を

していただけのような、

事業展開をしていきたい

と考えています。

### 三 自立のための産業育成

**大石議員** 工業団地へ

の企業誘致が進んでいな

いのが現状です。予算措

置をして実際に会社に出

向くなどできないのか。

**答弁** 積極的にPRし

ていますが、ヒットしな

いのが実情です。12月に

工業団地にも光回線が入

るので、今後トップセー

ルスも積極的に進めたい

。

**片山議員** 鷹栖町の特

色を生かした産業育成と

は、どのようなことを考

えているのか。

**答弁** 主幹産業の農業

を主体に、加工品を作っ

て6次産業や、パレット

ヒルズのイベント、農協

青年部の田んぼアートな

ど、町もバックアップし

ながら、農の魅力や田園

風景を生かした事業をP

Rしていきたい。

**大石議員** 現在、総合

グラウンドの隣、町の真

ん中に土捨て場がありま

す。

何のために買ったのか、

なぜ土捨て場になっている

のか。町民の憩いの場所

にできないのか。

**答弁** 当初は、総合ス

ポーツ公園の計画で土地

購入をしましたが、諸般

の事情で現在の状態にな

っています。町有地の

土地利用については、平

成25年度に、総合的に行政

内部で検討を行い、進

めていきたい。



(株)鷹栖町農業振興公社

**近藤議員** 「オオカミ

の桃」の振興策ですが、

2〜3年が勝負だと思

います。現在、新設ハウ

ス・天井ビニールと堆肥

の助成制度は行っていま

すが、生産者の要望と

合っていない。

現状の生産量でも維持

できる振興策は。

**答弁** 「オオカミの

桃」については、ここ

3〜4年が勝負かと思っ

ています。

振興策は重要なことな

ので、制度設計も含めて

農協・公社との連携を取

りながら、予算編成に向

けて検証していきたい。

## 四 自立のための協働育成

**片山議員** まちづくり懇談会を年2回開催する

とあります。参加した方々は発言するのは大変緊張すると言っています。次回の開催に向けて、もっと話しやすい雰囲気づくりの工夫が必要ではないのか。

**答弁** 年2回にすると、春に地区の事業について説明して、秋には点検をし、問題点や希望・課題の質問が出やすくなるのではと考えています。

その間、職員が現場に出向き、住民の声を聞きながら仕事を進めていきたい。

**木下議員** 「信頼できる役場組織への成長を約束」と、町長の強い思いを感じます。職員が地域住民との関わりを持ち、一人でも多くの住民から信頼を得ることが非常に大事だと思えます。

信頼できる組織への成長とはどのようなイメージなのか。

**答弁** 町の財産は人材

と思っております。人材を生かしたまちづくりを進める上で、地域の課題に耳を傾け、イベント等に参加して人とのつながりを大事に、住民の力を引き出すことのできる職員を育てることが重要と考えています。



まちづくり懇談会



## 五 一生涯安心して生活できるまちづくり

**中村議員** 生涯元氣課

長のポストが兼務されており、福祉が後退したようなイメージを受けます。専任の課長を置いて、生涯元氣課を残すのか。

**答弁** 短期間の兼務であれば問題ないと判断しています。今後、機構改革等も考えていますので、その部分も含めて検討したい。

**辻本議員** 農村地域で

は、未だに水道が整備されておらず、井戸水で生活している地区があります。寄生虫等の問題もあるので、安心して暮らすために、早急に対応してほしい。

**答弁** 水道の関係は、企業会計というところもあって、費用対効果の部分もあり、今後、地元の方々と具体的な話も含めて相談していきたい。

**植西議員** 過疎地域の

交通体系は、抜本的にどのように町営バスの運営をしていくのか。

**答弁** 現在の循環線は、乗車時間が長いので、短縮できる部分は短縮したい。知遠別線は、現在の一部アマンダ方式がいいのか、地域の実情を聞いて有効な方法を考えます。

※アマンダ方式：バスなどを事前予約制で、需要に合わせて運行する方式

## むすびに

**植西議員** 「失敗を恐

れずに行動すること」とは、職員の失敗を上司が責任を持つ考えがなければ前に進めません。研修等を取り入れて職員の意識改革をしていくのか。

**答弁** 事業の遂行は、過去の経過や財源面を



しっかりと考え、検証しながら確実に進めていきたい。新しい研修制度を考えて、若い職員が積極果敢に挑戦していくことも大事だと思っております。

**中村議員** 町政は町民の税金で運営している以上、結果が失敗では困ります。積極的に進めることは大事ですが、取り違えないで町政を遂行していただきたい。

**答弁** 挑戦する計画があっても、検証して財源の裏づけも取りながら、未来に負担を残さない考え方で業務を遂行していきたい。基盤にあるのは町民の方が安心して住めるまちづくりです。

今回は過去最多、10名の議員が一般質問しました。  
町長も的確に答弁し、実のある質疑となりました。



パレットヒルズの看板

質 問

# パレットヒルズの新たな計画は

植西 辰義 議員

答 弁

## 指定管理者委託を視野に検討

質 問

パレットヒルズは、平成10年からボランティアが中心となつて整備を始めました。日本桜の会や、旭川トヨペット、本田技研などから多くの桜の苗木を寄贈いただき、ようやく桜フェスタを始めとする各種のイベントを開催できるようになりました。

しかし、未だに完成されているとは言いがたく、現状の施設では決して利用者の満足感を得られません。全国公募で採用されたパレットヒルズの名称は、パレットの上で様々な色が生み出されるように、四季折々の自然の変化を生み出す丘、との意味が込められています。全町民に親しまれる憩いの場

所や、子どもたちの自然教材としての活用も考えられます。

パークゴルフ場の入場者数は平均で17,900人、平成24年には芝の管理の問題もあり、やや落ち込んでいます。3カ年の試行期間が過ぎますが、引き続き、パークゴルフ場を経営委託した場合には、資金面での安定的な財源も必要不可欠と思います。

助安前町長は、整備計画については、今後の新体制に委ねたいとのことでした。パレットという名の色々な色にふさわしい整備計画を示していただき、谷町長の考えを伺います。

答 弁

町 長

パレットヒルズの杜づくりは今後も継続していきたいと考えています。

整備の基本構想は平成25年1月にお知らせします。また、予算については3月の第1回定例会で説明したいと思います。

公園としての機能やパークゴルフ場利用者の利便性の観点からも電気水道などの基本的施設の整備は必要だと考えています。また、財政的な面も考慮しながら決定し、議会や町民の皆さまにも説明したいと考えています。

整備には多額な経費がかかります。未来に負担を残さないという原則で、公園条例を制定して、有

利な補助金を活用していきたいと考えています。パークゴルフ場は、継続の方向で検討を進めていきます。管理面については、パレットヒルズ全体を指定管理者委託する方法も視野に入れ、現在検討しています。

パレットヒルズには、約1,900本の桜が植栽されています。10年後20年後には桜の名所になるよう期待しています。町民の杜として、また多くの人が集える場として活用していくことが重要と考えています。



空き家

## 質問

### 空き家対策について

#### 答弁

空き家の有効活用について検討を進めたい

**質問** 本町も高齢化が進んでおり、高齢化率は27パーセント程度になっております。町外にいる子供との同居、福祉施設への入居、または死亡により、空き家が増加傾向にあります。

空き家も所有者により十分な管理がされていれば問題ありませんが、管理不十分または放棄によりいろいろな問題が発生します。

老朽化もしくは、積雪、強風等の自然災害による倒壊、崩壊または飛散など危険な状態になります。不審者の侵入による犯罪、火災を誘発する恐れがあります。

また、ネズミ、野生動物が生活環境に害を及ぼし、種々の問題を引き起こしかねません。

家屋が朽ちれば、地域が弱ります。

弱った地域は静かに壊れていきます。

本町も深刻な問題が発生する前に、何らかの対応が必要と考えます。

一つには、空き家を増やさない取り組みであり、もう一つは、空き家対策の条例化であります。

町長の考えをお伺いします。

**答弁** 町長 鷹栖町における空き家については、市街地をはじめ、農村部において点在して見受けられる状況ですが、倒壊等の恐れのある家屋についての実態は、把握していないのが現状です。

老朽化した空き家が放置されることは、景観上の問題だけでなく、地域の皆さまの生活環境に様々な面で影響を及ぼすことが懸念されます。

しかし、空き家は、あくまで所有者個人が維持管理に努めることが基本であると考えます。

今後、周囲に危険を及ぼすような状況があった場合には、町からも所有

者に対し対策を講じていただくよう働きかけを行ってまいります。

また、行政の費用負担で危険家屋の解体を代行した場合、費用徴収の課題等もあり、早急な「空き家の管理等を求める条例」の制定は考えていません。

将来的には検討が必要になってくることも考えられますが、まずは空き家を増加させない定住対策と連携した空き家の有効活用について、検討を進めていきたいと考えています。

中村 公憲 議員





パレットヒルズからみた大雪山連峰

質 問

「オオカミの桃」増産への取り組みは

答 弁

野菜の総合的な生産振興対策を構築する

大雪山国立公園観光連盟加入への姿勢は

答 弁

定住自立圏構想の中で進める

大石 隆 議員

質 問 「オオカミの桃」

の生産量減少が続き、多くの町民が危機感を持ってきました。

歴代の町長も増産に向けて努力され、「10tプロジェクト」や接木苗の助成等で生産者の負担を軽減するなど、生産意欲を持ってもらおうと様々な施策を行ってきました。昨年度、今年度とわずかながら生産量が増加していますが、ピーク時の60万本に対して半分まで減ったのは原料トマトの生産減が原因です。作付面積並びに生産量の増産に向けてどのような対策をお持ちなのか伺います。

答 弁 町長

24年度、

「オオカミの桃」の生産量は37万1千と前年より増産となりました。

当面の対策としては、現在行っている事業も含め、25年度予算での方向性を出していきたいと考えています。

今後は中長期的な目標を掲げた中で、原料トマト・きゅうり・採種などの現状の生産体系を生かしながら、野菜の総合的な生産振興対策を構築することが必要です。JA、農業振興公社などと連携した中で、方向性を定めていきたいと考えています。

質 問

大雪山国立公園

観光連盟は1市6町と8つの観光協会がこの地域の魅力をPRし、観光客の誘致を目的とする団体であります。

鷹栖町にも、今後多くの方に来ていただいで、自然やいろいろな施設を利用して欲しいと思います。

今後、鷹栖町も加盟すると言われていますが、加盟する事で農業、商業、観光をより多くの方にアピールできる良い機会が生まれると思います。連盟に加入する事による鷹栖町への影響、またどういう体制を考えているのか伺います。

答 弁 町長

現在、定

住自立圏の協定を結ぶ1市7町で、担当者の部会を設置し、各町の観光素材の情報を共有し、連携できる事業について検討を進めています。

今後は、国の観光圏認定などにも対応できるように、鷹栖町が現在加盟していない「大雪山国立公園観光連盟」を発展させ、鷹栖町も含めた新たな組織に移行する方向で検討が進められています。検討中の事項のため、具体的な影響などについて答えることは難しい状況にありますが、定住自立圏構想に沿って進むものと考えています。



## 質問

### いま、なぜ「読書環境の充実」か

片山 兵衛 議員



北斗・中央公民館図書

## 答弁

人を育む事業は、早く取り組んだ方がよい

## 質問

読書環境の充実を図るため、まず図書館司書を配置すると公約にあります。

どのような施策をどのような手順で展開しようとするのか、具体的な計画が一切示されないまま、なぜそれほど司書の雇用を急がなくてはならないのでしょうか。現在の状況では何が不足し、何を補うための司書なのか、ご説明ください。

現在計上されている図書購入費は鷹栖・北野地区住民センターと子育てセンターに集中していて、中央・北斗・北成の図書室には一冊の新規購入本も配布されていない現実もあります。全町民に対

等のサービスというのが行政の責務であれば、この不平等をまず解消する必要があるのでないでしょうか。

新規購入本は5住民センターを巡回させるなど、現状のまま取り組める読書環境の整備もあるはずです。

読書環境の充実をはかることに反対するわけではありませんが、チームを作って、計画を練り、住民の合意を得て、それから始めても決して遅いということにはならないのではないのでしょうか。

## 答弁

町長

私は「まちづくりの原点は人づくり」であり、人を基本と

した、心豊かな人を育む事業のひとつとして読書活動の支援は重要と考えています。

子どもたちをはじめとして読書に親しむ環境を創り出すことに、今はまだ早いということはありません。少しでも早く取り組んだほうがよいという考えから、新規雇用で図書館司書を配置したいと考えています。

教育委員会に配置し、鷹栖・北野地区住民センター、小中学校、子育てセンター等での活用を考えています。

限られた予算の中で公

平に5地区に配本することは難しいですが、各住民センターに「図書リクエスト用紙」を置き、ファックス等で受付をし、配本することを1月から取り組みます。

効果の検証は、従前も教育委員会で行っていると考えていますし、新しく司書を雇用した場合も行いたいと考えています。

まずはスタートしてから、よりよいものにしていきたいと考えています。

質 問

# 農業の効率化と次世代への継承

藤澤 孝夫 議員

答 弁

## 担い手の確保と継承事業の調査研究を



(株)ビジネスファーム

**質問** 現在60歳以上の農家戸数は、約6割になりこれからも戸数の減少は続きます。鷹栖の農業を新たな担い手に託さなければなりません。

しかし、ベテラン農家のノウハウの習得にはかなりの時間がかかります。農業は十分な体力と専門知識が必要です。同じ生産方法を用いても、技術が違くと作物の品質が違います。

また、外部環境も常に変わり違う条件下で最適な決断が求められる、これが現在の農業であります。

農業のIT化は農業分野の情報や技術を「デー

タ化、ネットワーク化」などにより、作物栽培の様々な情報を収集、分析農家の作業時の判断を支援します。

また、環境情報、生態情報、農作業判断情報を「システム化」することにより、新規就農者や新規参入者、後継者への継承も今よりはるかに容易に行え、効率的な農業生産と品質、収量の高位平準化が図られ、新しい農業スタイルが期待できます。

「農業経営継承事業」では、農地や機械施設、栽培技術、経営技術、地域における役割などを受け継ぐ事業です。農業移

譲を希望するところをインターネットなどで幅広く就農者を募集します。希望する人がいると、両者の顔合わせ、事前体験、農業継承の合意ができれば、5年以内に独立するという事業です。

IT化も含めて、農業生産の効率化に向けて大変重要と思います。町長の考え方を伺います。

**答 弁** 町長

農業のノウハウをデータ化する点により、技術の継承が今よりもスムーズに行われ、農業技術及び人材を育てていくことができると思います。

次世代への技術継承と

いうのは、担い手の確保と農業振興のためにも重要ですので、どのような取り組みが有効か情報収集を進めていきたいと思えます。

「農業経営継承事業」についても、次世代への継承という観点から、非常に重要なことと認識しています。高齢化が進み、後継者がいないままリタイヤしていく農業者の中には、優れた経営をしている方が数多くいます。これらの経営資源を失うことは、鷹栖町にとって大きな損失になりますので、調査・研究を進めていきます。

質問



二世帯住宅

# 若い世代の定住対策について

答弁

定住促進を積極的に進める

答弁

社協と連携して、全力で事業を進める

## 「地域福祉計画」と「地域福祉実践計画」について

坂根 玲子 議員

質問

誰もが住みなれた地域で自分らしく暮らせる地域づくりのために、行政施策の充実とともに、住民が主体となり、地域課題を明確化し、その解決策の取り組みを行うのが「地域福祉計画」と「地域福祉実践計画」であるが、

- ①町長は「地域福祉計画」をどう考えているのか。
- ②「第7次総合振興計画」と「地域福祉実践計画」の整合性と連携の取り方は。
- ③24年度「お互いさまづくり行動計画の策定」54万円の予算の使途は。

答弁 町長

①「第7次総合振興計

画」に包含していると理解しており、地域での支え合い、助け合う地域福祉の充実に向けた時代のニーズに合わせた「お互い様づくり行動計画」を策定します。

②社会福祉協議会と十分に協議し、連携・整合性を取りながら進め、「活動支援会議」「ニーズ把握」「住民座談会」などを一緒に進めていきます。

③「助け合い活動支援会議」を組織し、具体的な行動計画をつくり、社会福祉協議会と連携して予算を執行します。いつまでも自分らしく、安心して住み続けられる地域を目指して、助け合い、困った時は『助け

て』と言える環境を創るため、全力で事業を進めます。

質問

地域のつながりが希薄化している中、「親の近くに住みたい」「鷹栖に住みたい」という若者がいても「土地や住む家がない」「公営住宅入居条件が厳しい」と聞いているので、

- ①二世帯住宅や同敷地内に家を建てるときは、土地代や増改築費の助成
  - ②空き家購入時の改修費助成
  - ③市街化調整区域の見直しを検討
- など、一人でも一軒でも鷹栖に移住できる鷹栖町独自のシステムを考える

答弁 町長

べきと思うが、町長の考えを伺います。

①親と子の双方が「安心感」や「幸福感」を持って生活できる環境支援という意味では有意義であり②の空き家活用についても効果的であると考えます。

③は法的にも難しい問題であるが、工夫した中で取り組めることがあれば研究していきます。現実的な手法を検討しながら総合的な定住促進対策を積極的に進めていきます。



質 問

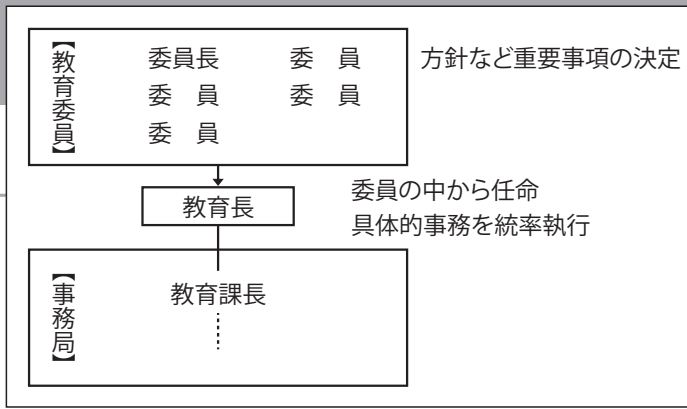
教育委員会の組織をわかりやすくすべき

答弁 教育長 今後も現状の体制でいきたい

教育委員会に関する要望を聞く努力を

答弁 町長 町民との会話に努力する

木下 忠行 議員



組織図

質問 教育委員会は5名の委員で構成され、互選により非常勤の教育委員長、非常勤の職務代理者、常勤の教育長が選任されます。そして、組織のトップは教育委員長であるとのこと。

しかし、住民の中には、組織のトップは教育長だと思っている方が多くいます。その理由は、議会の対応や団体などの行事に参列しているのが教育長だからです。

教育委員会内の権限を明確にして、わかりやすい組織にすることができないのか伺います。

答弁 教育長 教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で組織や教育委員の任期などが定められています。

また、「鷹栖町教育委員会事務委任規則」で定めるところにより、その権限の一部を教育長に委任しています。このため、教育長が議会に出席している状況です。

委員長が出席しないため、議会の運営に支障をきたすという状況は今ままでありませんので、今後この体制でいきたいと考えています。

質問 教育委員会は、予算に対しての執行権はありませんが、編成権は町長部局にあります。教育委員会からの予算要求に対して、町長が査定を行います、議会に提案がされる仕組みです。

したがって、町長も教育委員会の予算に関する住民や団体からの要望を聞く機会を意識的に設けるべきだと思います。

たとえば、教育関連団体の懇談会に町長も出席して住民の声を聞く、などの努力をすべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

答弁 町長

教育関係事業については、教育委員会での事業の選択をし、それらの事業等の予算要求を町に対して行なっています。

そして、教育行政については教育委員会に事務委任をしていますので、町長が判断して事業選択を行なうべきではないと考えています。

ただし、まちづくりを進めるうえで町民との会話は大変重要なことと思っておりますので、そのような場面には足を運ぶ努力をしていきます。



## 質問



TPP反対集会

**質問** TPPがこれまでのFTAと根本的に違うのは、除外・例外を設けないことを原則としている点です。

国家に参加すると、関税撤廃のほかに、金融・保険・医療・政府調達・知的財産など、非関税障壁を含む24項目に及んでいて、国家主権・国民主権を制限するものです。

医療制度崩壊や格差拡大の問題、食の安全性後退やデフレ経済の加速化などの問題もあります。特に、北海道は米・小麦・畜産物や砂糖などがその影響をまともに受けて、結果的に地域経済や地域社会の崩壊につながりか

ねません。デメリットばかりのTPPに対して私は反対していく決意ですが、町長はどのように考えていますか。

**答弁 町長** TPP協定で対象とされている分野の関税が完全に撤廃された場合、基幹産業である農業は安い輸入商品に押され、雇用の減少や自給率の低下につながってしまいます。

今後も北海道や各団体・組織などとも連携しながら、交渉参加反対の立場で行動していきたいと考えております。

**質問** 福島第一原発事故はまだ収束に至っていません。ふるさとを追われた被災者の皆さまのご苦労はいかばかりかと思えます。

また、農民の一人として、福島の農民の辛苦は人ごとではありません。本来農民は命を育む仕事に従事しているのであり、安全な食を届けることが使命です。科学的根拠に基づいた行程表を示した上で、原発を最終的に代替エネルギーに変えていかなければなりません。町長の基本的考えを伺います。

**答弁 町長** 原発事故の影響は、鷹栖町においても農水産物による健康被害や、一次産業に与える風評被害の影響を考えると無関係ではありません。

原子力発電については、国民が安心して暮らせることを基本とし、将来的には原発ゼロを目指した社会の構築に努めていくべきと考えています。

しかし、電力需要の逼迫による節電要請があることも事実で、鷹栖町としても、代替エネルギーを含め、節電対策を模索していかねばなりません。

## 脱原発問題について

答弁

原発ゼロを目指す社会にしたい

答弁

交渉参加は反対

## TPP問題について

中家 彰 議員



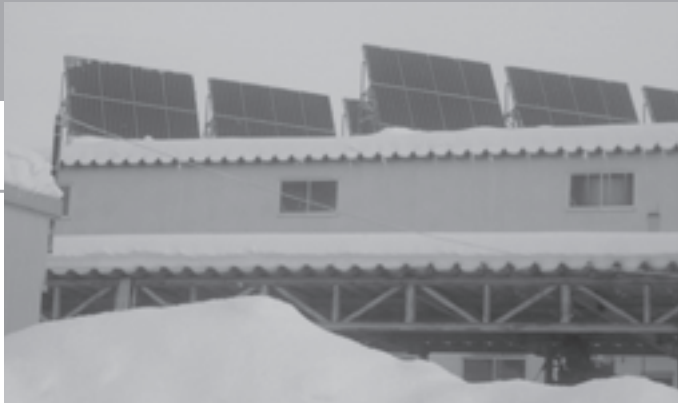
質 問

# 新エネルギー導入は

辻本 篤 議員

答 弁

## 太陽光発電の助成は前向きに検討



太陽光発電

**質問** 第2回定例会で、前町長に、同僚議員からも積極的に新エネルギーを導入しては、とありました。

私も議会・委員会の中で、小学校に太陽光発電を取り入れては、と質問したことがあります。

将来を背負っていく子どもたちには、身近なところで太陽光発電に接してもらい、電気エネルギーに関心を持ってもらうべきだと思います。

町が助成を出して、積極的に各家庭で太陽光発電に取り組むべきではないかということです。

今回の定例会は、25年度の予算を決める前の定

例会です。

23年に新エネルギービジョンを策定してすぐ、3・11大震災と原発事故があり、エネルギーの中でも電気の大事さをまざまざと教えられたと思います。

先日も、大変な暴風雪により、高圧鉄塔が倒壊し、登別を中心に大変な被害が出ました。

改めて電力と経済生活の関わりの大きさを知ったところがあります。

上川管内のいくつかの町村でも、太陽光発電に助成していますし、鷹栖町は管内の中でも利便性があり、人口の面でも多少でも恵まれた環境にあ

ると思いますので、この地域全体に貢献できるのであれば率先して取り組むべきでは。

町長の考えを伺います。

**答弁 町長**

新エネルギー導入については、昨年の3月11日東日本大震災での原発事故や、登別の自然災害等による大規模停電事故をみましても、大変重要な問題と考えています。

平成22年に「地域新エネルギービジョン」を策定し、自然エネルギーの利用、CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みを検討しているところでは。

公共施設での新エネル

ギーを活用した設備は、投資額に見合う効果を得るには、大変難しいものがあります。

エネルギー対策は町民の理解をいただき、気運が高まる状況であれば、新エネルギー導入だけでなく、省エネを含めたCO<sub>2</sub>削減に対する具体的な取り組みを進めたいと考えています。

太陽光発電の助成については、CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みとして、制度の前向きな検討をしていきます。

## 質問



鷹栖地区住民センター

### 鷹栖地区住民センターの建て替え、 改修計画と図書室の拡充は

新田 健一 議員

#### 答弁

任期中には図書室の拡充も含めた改築の検討を進めたい

#### 質問

鷹栖地区住民センターは、地区住民センターの中でも一番古い施設で、建設から40年以上経過しており、老朽化が進んでいます。

利用に際しても、大変不便を感じていて、冬期間は寒く、葬祭等では控室が2階を利用することが多く、エレベーター等も設置されていないために、高齢者は特に苦労しているのが現状です。

議会が行なった「地域を語ろう会」でも、鷹栖地区住民センターの建て替えや改修の要望が出されています。また、図書室の拡充も含めた改修計画の質問も出ていました。

#### 町長は、選挙中の遊説

で図書環境の充実をあげ、子ども時代に本に触れる機会を増やし、読書の大切さを知ってもらうことが、将来の人間形成で大事なことではないかと、私も同じように思います。

任期4年の中で、鷹栖地区住民センターの図書室も含めた、建て替えや改修を計画して、住民の要望に応える考えがないのか伺います。

#### 答弁 町長

昭和45年当時、福祉会館として建設され、町民の活動拠点として、たくさんの方に利用していただいている施設です。

しかし、建設から42年も経過し、かなり老朽化が進んでいます。改築・改修については、第7次鷹栖町総合振興計画の後期計画に位置づけられている事業です。

任期中には、図書室の拡充も含めた改築の検討を進めていきたいと考えています。

具体的な時期や内容施設の詳細等は財源も含め、様々な角度から総合的に判断し最善の方法を模索していきたいと思っています。

また、鷹栖地区住民センターの改築に向けた中

で、住民の要望として図書室の拡充も含めた、検討も加えていきたいと考えていますし、図書環境の充実についても、本腰を入れて頑張っていきたいと思っています。

当面は、今の施設を活用せざるを得ませんので、利用面などで、地域の皆さまや利用していただいている方々に、不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

少しでも早く解消できるように努力していきたいと考えています。

## 第4回

# 定例会

2012年12月13～18日

第4回定例会は、12月13日から6日間の会期をもって開催し、町政に際しての所信表明を受けた後、10名の議員が一般質問を行い、町長の考えをたどしました(6～15ページ)。

14日の議事は、専決処分、条例の改正、契約の変更、平成24年度一般会計・公共下水道事業特別会計・上川町村等公平委員会特別会計の補正予算およびその他3件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、1件の人事案件について同意しました。

18日に、町長の所信表明に対する質疑(2～5ページ)を行い、閉会しました。

♪議会〇×クイズ♪ さぁどっち?!

1. 鷹栖町議会議員の数は12名である
2. 傍聴席のイスの色は茶色である
3. 議場は役場の3階にある

答えは17ページ



### 専決処分

■12月16日執行の衆議院議員選挙費の補正  
専決を承認しました。



### 条例

■鷹栖町過疎地域自立促進特別事業基金条例の制定  
事業の継続的な実施を図るために制定しました。  
■鷹栖町防災会議条例の一部改正  
災害対策基本法の改正に伴い、改正しました。



### 人事案件

※  
■固定資産評価員の選任同意  
任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。  
(新任) 八尾谷 仁さん  
(北1条1丁目)

※固定資産評価員：総務大臣が示す固定資産評価基準に従い、固定資産を適正に評価し、町長が行う価格の決定を補助する職務で、鷹栖町は副町長が兼務します。



### 契約

北野橋補修工事請負契約の金額を変更しました。  
金額 6,463万8千円  
相手方 株式会社 山元組  
(南1条2丁目)



### その他

■定住自立圏形成協定の変更  
必要な生活機能の確保に向けて旭川市と結ぶ協定に、子育て支援と成年後見人制度の利用支援体制の充実を追加しました。

※  
■町道廃止について  
北野地区国営緊急農地再編整備事業の事業区域にかかる町道を一時廃止し、農道にしました。

※国営緊急農地再編整備事業  
：耕作の効率化と農地の集積を図る事業。

■町道認定について  
一部事業区域外にある町道の認定をしました。





# 第4回 定例会

12月13~18日

- 町長・議会議員選挙費の減額です。
- しらかば団地などの床下排水管の改修工事をします。
- 教育費に寄附があり、小学校に図書を購入します。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	160万8千円	46億8,506万5千円	46億8,667万3千円
(内訳)			
議会費	△54万8千円	議会運営事業	
総務費	5万5千円	総務管理事業他	
民生費	54万4千円	地域生活支援事業	
農林費	451万円	農業振興対策事業他	
土木費	37万8千円	公営住宅維持管理事業	
教育費	△333万1千円	教職員住宅管理整備事業他	
公共下水道	18万円	職員の扶養手当の増	
公平委員会	10万円	不服申立てに伴う負担金の増	

平成24年度の予算が増額されました。



補正予算

平成24年

## 第7回臨時会

11月9日に開催された臨時会において、2件の人事案件に選任同意しました。

今後のご活躍を期待します。



教育長  
宝田庄十郎さん  
(南1条3丁目)



副町長  
八尾谷 仁さん  
(北1条1丁目)

町政の新体制擁立に伴い、次の方の選任に同意しました。

平成25年

## 第1回臨時会

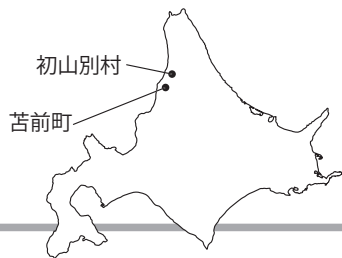
1月29日に開催された臨時会において、平成24年度一般会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	3,777万5千円	46億8,667万3千円	47億2,444万8千円
(内訳)			
民生費	△39万8千円	地域福祉活動支援事業	
土木費	3,769万3千円	除排雪対策事業(大雪のための増額)	
教育費	48万円	小学校管理事業、中学校管理事業	

- お互い様づくりアンケートを実施します。
- 小中学校の児童生徒で多額の費用を要する入院・通院があり、増額されます。

平成24年6月27日(水)～28日(木)

## 総務文教常任委員会 所管事務調査



### 苦前町

社会教育課事業



●調査概要・内容…苦前町は留萌管内の中央部に位置し、基幹産業は農業・酪農・漁業・商業である。人口は3,530人ほどで風が強いことを利用して、町営の風力発電施設として民間企業2社による国内最大級の風力発電が設置されている。

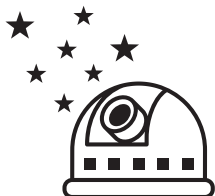
苦前町社会教育課事業は学社融合事業、町民参加型劇団、図書室活動等、積極的に取り組んでいる。

●委員会所見…学社融合とは学校教育と社会教育の融合で、学校授業の中に、地域の方の知識や特技を取り入れる試みであり米づくり体験・森林学習等多くの事が行われている。

町民参加型劇団は平成4年に始まり平成23年には出演者、裏方40人で年齢も4歳から60歳と幅広い活動を行っている。図書室活動は平成14年から司書有資格者を採用して読書環境の向上に努め学校・保育園の読書推進から成人への活動へと少しずつシフトして地域の人が集う図書室へ取り組んでおり、今後において見習う事である。

### 初山別村

ITによる村づくり



●調査概要・内容…初山別村は、北海道の北部で日本海に面し、人口は、1,360人ほどで基幹産業は農業と漁業である

しよさんべつ温泉ホテル岬の湯は天文台に隣接しており雄大な日本海に沈む夕日や水平線に浮ぶ利尻富士が眺められる。

また観光にも力を入れており、多くの観光客が訪れている。24年度の予算規模は、一般会計19億500万円、特別会計9億1,400万円である。携帯電話を活用した住民生活安全システムの導入に向け一世帯に一台以上の携帯電話環境の実現を目指している。

●委員会所見…23年度は携帯電話へのメール配信による緊急情報等の伝達、また、24年度より無線中継基地局を構築して無線LANでインターネットに接続することにより、教育、観光、医療・福祉、買い物等の各分野における住民生活の利便性向上に向けてITによる村づくりを目指している事は非常に参考となった。

現在、本町が無線中継基地局による、全町の高速度ブロードバンドを目指しているが、更に携帯電話による、住民生活安全システム構築についても今後の参考としていきたい。

# 委員会視察報告

平成24年6月、総務文教常任委員会が所管事務調査として道内各地で委員会視察を行いました。

視察内容は第3回定例会で報告しました。その内容をご紹介します。

視察したことは今後、町政・議会運営に生かしていきます。

「北海道農業の展望」というタイトルで月刊「農業経営者」編集長の昆吉則氏。

所得補償政策については「バラマキが農家のモラルハザードを産まないか？」などと問いかけて、

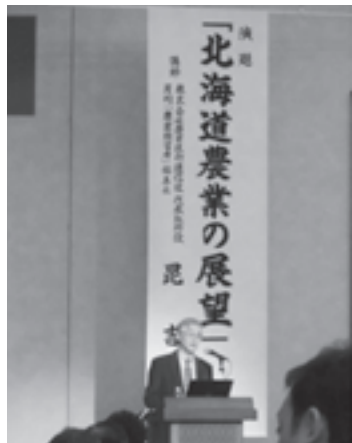
農家に後継者が少ない理由を「誇りなき親と農家関係者の姿に幻滅し、親

が子に捨てられているから」であり「チャレンジし続ける農業経営者に後継者がいる」「日本はまだ農家が多過ぎる」と説明、さらにTPPについて

でも「守りだけで日本の未来はあるのか？」と否定しない見解でした。

未来を見据えて、どうしなければならぬかを考えるきっかけとして、あえて刺激的な発言をしているとのことで、まさに

目のさめるような講演でした。



続いて「地方財政の現状と課題」というタイトルで北海道総務部財政課長の今井太志氏。データをどのように見ているのか、氏のオリジナルの指標をもとに解説されました。

上川管内の各市町村の財政状況がどのような状態にあるのかもわかりやすい表で説明され、それによると鷹栖町は「財政状況がよい市町村」に分類されるそうです。

ただし、都道府県別でみると必ずしも安心できないとのことでした。

議会のつごき

2012.11.5  
～ 2013.1.30

11月

5日 上川管内町村議会議員研修会 (旭川市)

7日 議会運営委員会

9日 第7回臨時会・議会活性化委員会役員会 (旭川市)

13日 上川町村議会議長会臨時総会 (東京都)

14日 全国議長大会 (東京都)

22日 議会活性化委員会役員会 (旭川市)

29日 上川町村議会議長会中央部会正副議長研修会 (旭川市)

12月

3日 経済福祉常任委員会 (第4回定例会)

4日 総務文教常任委員会 (旭川市)

7日 議会運営委員会

13日 第4回定例会 (旭川市)

19日 議会報特別委員会

26日 議会活性化委員会役員会 (旭川市)

10日 議会活性化委員会役員会 (旭川市)

16日 議会報特別委員会

21日 議会活性化委員会役員会 (旭川市)

23日 経済福祉常任委員会 (第1回臨時会)

29日 総務文教常任委員会 (旭川市)

30日 第1回臨時会・議員協議会 (旭川市)

30日 上川町村議会議長会役員会 (旭川市)

今読んでいるこの広報紙の新しい名前を募集します。皆さんの思いを込めたステキな名前を送ってください。

- 【募集規定】 字数 6文字以内 (ひらがな、カタカナ、漢字に限る)
- 【応募方法】 ○紙提出：様式は問わない。郵送、FAX可。  
○データ提出：メールで右記のアドレスまで送信してください。  
☆住所、氏名、年齢、名前への思いを明記のこと。
- 【応募資格】 鷹栖に縁のある方ならどなたでも結構です。
- 【その他】 ○採用された方にはプレゼントを差し上げます。  
○名前の著作権等諸権利は全て鷹栖町議会に帰属します。  
○字体は議会報特別委員会で決定します。
- 【応募期限】 平成25年2月末



舟根 忍さん  
(14区町内会)

## 「地域活性化について」

鷹栖町に住んで30年程になります。とても住みやすい町だと実感しています。

6年ほど前から自営業を始めて、より鷹栖町内での関わり合いが増え、イベント等の参加などで子どもの頃とは違う楽しみもできました。

そこで時々思うのは「地域活性化」という文字です。鷹栖町だけでなく近隣や全国で使われている言葉ですが、町が活性化するには、何が必要なのか、お金や資源を活用しただけでは解決しないと感じています。

正しい答えがあるかと聞かれると、答えられませんが、自分が自分らしくイキキと生活できれば、地域は活性化していると思います。

住みやすい町を、と望むのであれば、自分から提言や意見の言える環境作りも、活性化を進めていく一つの方法なのかと考えています。

## ■ わたしの一言 ■

### 「私が思うこと」

新町長が誕生し、鷹栖町はこれからどのように変化していくのでしょうか？

私は、中央地区で農業を営んでおりますので、やはり第一次産業である農業が安定経営出来る様に若い谷町長が頑張ってくれるのではないかと期待しています。

また、子を持つ親としては、子供達が安心して暮らせる町、子育てしやすい町を目指して欲しいです。

具体的には、人口増加、特に子供の人口増加に取り組む時期ではないかと思えます。近年、北野地区の住宅造成に伴い、北野小でも児童数が増加していると聞いています。しかし、鷹栖小では児童数のピークが過ぎており、どんどん子供の人口が減っていくことは明確です。そこで、鷹栖小地区の住宅地を造成して、あらゆる世代の人達が鷹栖町に定住してもらい、より活気ある町になっていけば良いなと思えます。



佐竹 晃さん  
(27区町内会)

### あしがき

新しい年を迎え、冬の贈り物に手を焼いている毎日ではないでしょうか。

国も政権交代があり、私たちの町も谷町長のもと新たなまちづくりがスタートしました。

今定例会では、町長の所信表明に対する質疑、10名の議員による一般質問が行われ、これからの町政運営の方針について、審議した内容を掲載しています。

『人を大切に、一生涯安心して生活できるまちづくり』に、大きな期待をしていきたいです。

このたび、わたしの一言にご協力くださいました、舟根忍さん、佐竹晃さん、ありがとうございました。

### ■ 次回の定例会は3月です

#### 鷹栖町議会

議会に関するお問い合わせはこちらへ

〒071-1292

北海道 上川郡 鷹栖町 南1条3丁目  
5番1号

TEL 0166-87-2111

FAX 0166-87-2196

mail:gikai@town.takasu.hokkaido.jp